

# プログラミング支援ツール NP4H-SEDBV3 バージョンアップについて

## 1. 対象機種

IEC61131-3 準拠プログラミング支援ツール SX-Programmer

形式	品名	最新バージョン	バージョンアップ時期
NP4H-SEDBV3	Expert (D300win)	V3.4.1.0	2007年5月

## 2. バージョンアップサービスの概要

ホームページからのバージョンアップサービスは、旧版の Expert (D300win) をお持ちの方を対象として、アップグレード機能を用いて最新の Expert (D300win) 使用環境を提供します。

ホームページからのダウンロードにより、最新の Expert (D300win) を容易に取得できます。

SX-Programmer Expert (D300win) V3.4.1.0 用アップデートファイル : ExpertUpdateV3410.exe

## 3. 最新バージョン V3.4.1.0 の主な変更内容 (2007年5月)

### (1) SPB の「バッテリー異常検出しない」モード対応

SPB の CPU パラメータに「電池異常検出」の項目を追加しました。

### (2) モニタ値表示の改良

10進表示に「ゼロサプレスあり」、実数表示に「標準の小数点表記」の表示機能を追加しました。

## 4. 主なバージョンアップ履歴

### (1) V3.4.0.0 (2007年2月)

#### ① 基本機能改良

変数エディタの EXCEL 連携、変数プロパティダイアログ、クロスリファレンス自動更新、プロジェクト比較、ウォッチウィンドウへの配列／構造体登録の、各機能を改良しました。

#### ② ラダーエディタの機能改良

左母線の整列、ワークシート分割、回路コメントジャンプの、各機能を改良しました。

#### ③ SPH300 ユーザ ROM 運転なしモードへの対応

#### ④ SPH2000 冗長化 CPU モジュール (NP1PM-256H) 対応

#### ⑤ V3.3.7.1 の不具合修正

グローバル変数シートの容量が大きい場合、クロスリファレンスの作成を実行すると Expert が強制終了することがある不具合を修正しました。

### (2) V3.3.7.1 (2006年12月)

#### ① V3.3.7.0 の不具合修正

SPH200 または SPB に対してプロジェクトをダウンロードすると、アプリケーションエラーになる不具合を修正しました。

### (3) V3.3.7.0 (2006年11月)

#### ① ボードコントローラ オプションカード対応

### (4) V3.3.6.0 (2006年10月)

#### ① IP アドレスリスト ネットワーク機器検索機能

IP アドレスリスト機能にネットワーク機器検索を追加しました。

#### ② ZIP ファイルのオフライン保存機能

ZIP ファイルをパソコンのディスクに保存する機能を追加しました。

### (5) V3.3.5.0 (2006年8月)

- ①サーボシステム FALDIC ALPHA5 対応
  - ②V3.3.4.1 の不具合修正  
SPH300EX 以外の機種にて、変数名の最後が ' \_E' のグローバル変数を AT 指定するとコンパイルエラーになる不具合を修正しました。
- (6) V3.3.4.1 (2006 年 7 月)
- ①高性能 CPU モジュール SPH300EX 対応
  - ②V3.3.3.0 の不具合修正  
SPH2000 (NP1PM-48E/256E) にて、FTP アクセス機能が使用できない不具合を修正しました。
- (7) V3.3.3.0 (2006 年 5 月)
- ①パスワード機能の拡充  
前バージョンで追加した、PLC オンライン操作の制限設定機能に対し、ユーザにてアクセス制限範囲を設定する機能を追加しました。パスワードによって制限される機能はアクセスレベルごとに設定できます。
  - ②クロスリファレンス付きラダープログラム印刷機能追加  
プロジェクト印刷機能にて、クロスリファレンス情報をプログラム印刷ページと同一ページに印刷する機能を追加しました。
  - ③変数定義ダイアログの設定改善  
変数定義ダイアログにて、グローバル変数グループの指定方法の「ワークシートの全変数を表示」機能のデフォルト状態を「設定有り」に変更しました。
  - ④変数情報のツールチップ表示  
ワークシート上に各変数のデータ形、初期値、コメントなどをツールチップ形式で表示します。
- (8) V3.3.2.0 (2006 年 1 月)
- ①パスワード機能の拡張  
PLC オンライン操作の制限を設定する機能を追加しました。  
本機能を使用してアクセス認証用パスワードを設定することにより、PLC への操作をレベル 1、レベル 2、レベル 3、の 3 段階で制限することが可能となります。
  - ②変数表示モードの一括リセット 設定  
LD/FBD ワークシートにおける変数表示モードを一挙動でデフォルト設定に戻す機能を追加しました。
  - ③SPH300 ファームウェア対応 (V\*\*65)
    - ・縮退立上げ時間短縮機能
    - ・強制設定状態継続運転
- (9) V3.3.1.0 (2005 年 11 月)
- ①ボードコントローラ対応
    - ・システム支援機能の追加
    - ・オンライン機能の追加
- (10) V3.3.0.0 (2005 年 8 月)
- ①システム定義 未実装操作の改良  
1 クリックでモジュールの実装/未実装を切り替えることが可能としました。また、未実装一括設定機能の 1 クリック操作により、構成ツリー上で選択されているモジュールとその階層下のモジュールを一括で未実装に設定または設定解除することができます。
  - ②SPH2000 対応  
新系列 CPU モジュール SPH2000 に対応しました。
- (11) V3.2.1.0 (2005 年 6 月)
- ①製品名称の変更  
従来の名称「D300win」より、「SX-Programmer Expert (D300win)」に名称を変更しました。
  - ②変数エディタの変更  
Microsoft Excel との連携、編集操作の改良、変数の一括挿入等の改良をしました。
  - ③プロジェクト編集の改良  
圧縮プロジェクト (ZWT ファイル) の解凍、プロジェクトツリーエディタの機能改良をしました。
  - ④印刷機能の改良  
プロジェクト印刷のページ指定印刷、変数ワークシートの折り返し印刷を追加しました。

- ⑤SPH300 I/O領域拡張への対応  
SPH300 (V\*\*64以降)のI/O領域拡張機能に対応しました。

(12)V3.2.0.0 (2005年4月)

- ①カーネル機能のバージョンアップ
- ・変数定義ダイアログの改善
  - ・ファンクション/FB定義ダイアログの改善
  - ・変数ワークシートの操作改善
  - ・POUグループ機能の追加
  - ・POUインポート/エクスポート機能の拡張
  - ・マルチユーザ支援機能の強化
  - ・サンプリングトレース機能の拡張
  - ・メッセージウィンドウの改善
- ②プロジェクト履歴機能  
ダウンロード成功後 (POU 変更含む) プロジェクトの履歴を保存する機能を追加しました。
- ③故障診断機能の改良  
詳細 RAS に表示されるメモリダンプ表示の一部を文書表示します。

(13)V3.1.4.0 (2004年10月)

- ①プロセッサリンクモジュール最大構成数拡張対応  
プロセッサリンクモジュール (Plink、FL-net など) の最大構成数を 8 台へ拡張しました。
- ②システム定義の設定追加  
システム定義のシステム動作定義設定に「CPU” 0” なしシステム立上げ」設定を追加しました。  
システムプロパティのシステム縮退立上げ動作定義に「拡張設定」を追加しました。

(14)V3.1.3.0 (2004年8月)

- ①SPH CPUボード サンプリングトレース機能対応  
サンプリングトレース機能を実装した CPUボード (NP3PS-SX1PCS74 V\*\*63) へ接続時、高精度サンプリングトレースが起動するよう対応しました。

(15)V3.1.2.0 (2004年5月)

- ①8kステップPOU対応  
SPH300 (V\*\*62以降)のPOU 8kステップに対応しました。
- ②SX制御ユーティリティの改良  
メッセージマネージャによるオンライン接続に対応しました。  
これにより、Expert (D300win) と制御ユーティリティが、同一ポートでの同時通信が可能になります。

(16)V3.1.1.0 (2003年12月)

- ①サンプリングトレース対応  
SPH300 (V\*\*61以降)のサンプリングトレース機能に対応しました。
- ②オンライン機能の改善  
故障診断機能において、システム重故障集約情報に表示されるPOU番号に対応したPOU名を表示するように改良しました。

(17)V3.1.0.0 (2003年6月)

- ①小形PLC SPB対応  
SPBのIEC61131-3準拠プログラミングを可能としました。
- ②SPBシステムソフトユーティリティ  
SPBの基本ユニットのシステムソフトウェア (ファームウェア) をSXモード (IEC61131-3準拠言語) に更新できます。
- ③SX制御ユーティリティの機能追加  
データ編集機能を拡張し、時間形、文字列形を追加しました。  
バックアップファイルの読み込み、編集機能を拡張し、タブ区切りテキスト形式を追加しました。

(18) V3.0.0.0 (2002年12月)

①新ラダーエディタ

ラダーワークシートの表示／編集を行うラダーエディタを、従来のフリーレイアウト形式から、グリッド枠固定形式に改良しました。これによりキー操作でのプログラミングが容易に行えます。

②変数ワークシートのテーブル化

変数ワークシート（ローカル／グローバル）が表形式となり、変数の整理がし易くなります。

③プロジェクトのプロテクト機能の追加

プロジェクトに対するパスワードによる木目細かいプロテクトが可能となり、セキュリティ性が向上します。

④故障診断機能の改良

構成情報を確認しながら故障情報を解析できるため、故障診断が容易となります。

5. 従来品との互換性

今回のバージョンアップによるプログラムの互換性は下表の通りです。

	旧バージョンで作成のプログラム	V3.4.1.0で作成のプログラム
NP4H-SEDBV3 旧バージョン	○	△
NP4H-SEDBV3 V3.4.1.0	○	○

新バージョンの機能を使用したプログラムは、旧バージョンの Expert (D300win) では非互換が発生します。

6. バージョンアップ方法

- (1) パソコンのハードディスクに任意のフォルダを作成します。
- (2) 作成したフォルダに V3.4.1.0 用アップデートファイル「ExpertUpdateV3410.exe」をダウンロードし保存します。
- (3) ファイルをダブルクリックします。（アップデートファイルは自己解凍型圧縮ファイルです）
- (4) 作成したフォルダ内にファイルが解凍されます。
- (5) 解凍したファイルの「Setup.exe」をダブルクリックします。
- (6) インストーラの指示に従い、インストールを行います。
- (7) インストールが終わったら Expert (D300win) を立上げ、「ヘルプ」メニューの「情報」にて、バージョンが V3.4.1.0 になっていることを確認します。

7. バージョンアップする際の注意事項

- (1) 本アップデートファイルは Expert (D300win) : NP4H-SEDBV3 がインストールされているパソコンにインストールしてください。
- (2) 本アップデートファイルは既にインストールされている Expert (D300win) のバージョンが V3.0.0.0 以降でないといけません。
- (3) 本アップデートファイルのサイズと実際にダウンロードしたファイルサイズが異なる場合は、インストールしないで破棄し、再度ダウンロードしてください。
- (4) 実行中のプログラム（Expert (D300win)、SX 制御ユーティリティ、メッセージマネージャ等）を終了してからインストールしてください。
- (5) インストール途中に何らかのエラーで処理が中断されてしまった場合、再度インストールしてください。再インストール時にエラーで中断される場合は、お手持ちの Expert (D300win) のセットアップ CD で旧版をインストール後、再度アップデートファイルをインストールしてください。

プログラミング支援ツールのバージョンアップは、『Fe library』のページからダウンロードできます。

Fe library ENTER